

会派視察研修報告書

平成28年10月24日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ

代表者名 鈴木 みのり



下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員1名分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	小池友妃子
日時	平成28年10月20日（木）～10月21日（金）
視察先	岡山県岡山市
研修内容	第17回介護保険推進全国サミットinおかやま
日程	10/20 介護保険推進全国サミット 13:30～17:20 10/21 介護保険推進全国サミット 9:00～15:40
備考	



視察研修報告書

平成28年10月24日

議員氏名 小池 友妃子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 平成28年10月20日（木）～平成28年10月21日（金）
- 2 視察先 岡山県岡山市
- 3 視察の種類 会派視察研修（みらいクラブ）
- 4 視察の成果等

第17回介護保険推進全国サミット

① これからの社会保障を考える ～社会保障改革と財政再建～

日本が直面している急速な高齢化の進展は、疾病構造の変化を通じて、必要とされる医療の内容に変化をもたらしてきた。平均寿命60歳代の社会で、主に青壮年期の患者を対象とした医療は、救命・延命・治癒・社会復帰を前提とした「病院完結型」の医療であった。しかしながら平均寿命が男性でも80歳近くとなり、女性では86歳を超えている社会では、慢性疾患による受療が多い、複数の疾病を抱えるなどの特徴を持つ高齢期の患者が中心となる。そうした医療は、病気と共存しながらQOL（Quality of Life）の維持・向上を目指す医療となる。すなわち、日本は今や世界一の高齢国家であるのだから、医療はかつての「病院完結型」から、患者の住み慣れた地域や自宅での生活のための医療、地域全体で治し、支える「地域完結型」の医療、実のところ医療と介護、さらには住まいや自立した生活の支援までもが切れ目なくつながる医療に変わらざるを得ない。

つまり「医療と介護の連携と地域包括ケアシステムというネットワークの構築」に取り組むことが必要。

② これからの地域包括ケアを考える ～今後の介護保険制度を踏まえて～

*東京都稲城市の場合…「介護支援ボランティア制度」

→高齢者の介護支援ボランティア活動実績等を評価したうえでポイントを付与し、その高齢者の申出により、そのポイントを換金した交付金を交付する制度（最大5,000円）

*大阪府豊中市の場合… a) 住民力を活かした公民協働によるケア

b) ケアリングコミュニティの視点

c) 支えられる人も支えることを

d) 重層的な発見力と多様なネットワークの構築

e) 居場所から就労までの多様な社会参加の場づくり

つまり、知識や経験を伝授しながら、できることを出来る人がする仕組みをつくる。

（*下記資料1参照）

③ 在宅医療・介護の連携推進

櫃本四国医療産業研究所長より…

「生活を分断しない医療・介護で元気高齢者を生み出す地域づくり」。
地域包括ケアシステムの方向性は「危機感共有」と「目的共有」を前提に、地域住民の自分らしい生き方・死に方の実現へ（急性期医療も例外ではない）。
元気高齢者を地域ぐるみで育成支援し、地域コミュニティ主体の地域づくりを（生活の場を重視し、元気高齢者の活躍の場づくりを）。

④ 今後の介護保険制度の展望について

香取前厚生労働省雇用均等・児童家庭局長より…

2025年に向けて「到達点」としての地域包括ケアの実現のためには、医療から介護、施設・病院から地域・在宅への流れを確実なものとしていくための地域の医療・介護サービスの基盤整備が重要。そのためには、

- ①日常生活圏域で必要なサービスが完結すること
- ②個別制度・サービスを越えた包括的・継続的支援が行えること
- ③他職種の協働・連携による「チームアプローチ」の仕組みができていくこと
- ④一人一人の要介護者の状態変化に対応した長期に継続する支援が行えることが大切。

⑤ いつまでも自分らしく暮らし続けるおかやまを目指して

岡山市立岡西公民館の取り組み…地域のみんなでつながり隊（*下記資料2参照）

日常のちょっとしたことで困っている高齢者と人の役に立ちたいと思っている地域住民を公民館でつなぐ。この活動により地域で支え合いが必要だと実感しはじめた。今後は子供・高齢者・大人がお互い見守り声掛けし、支え合えるような関係性のある地域をめざしていく。

最後に・・・

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、当市も市民が重度な要介護状態となっても、住み慣れた碧南市で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制を構築することが今後の課題と感じた。そのために今やらなくてはいけないことは、碧南市の特性に応じた、地域包括ケアシステムを市、県、国と早急につくり上げることが必要と感じた。

(資料1)



(資料2)

**「利用料無料!」 三門学区
地域のみんなでつながり隊**

対象 三門学区 70歳以上の住居または夫婦のみ世帯

「時間以内でお手伝いをします!」

(例) ゴミ出し(可燃ゴミ、資源物類(硬さゴキ)
買い物の代行(区内で、代りも可)
洗濯機をかけたご機嫌(60分以内)
おしんこ
お話し、ワックスがけ、ふみき
ストーブ・ヒーター、すだれ・扇風機の出し入れ
ワケの取付
専任スタッフ(12~2名)が対応

岡山市立岡西公民館
(086)253-7581
【受付時間】 9:30~17:00 (土曜・日・祝日)